

第63回 医学教育セミナーとワークショップ

開催要項・参加者募集

医学教育開発研究センターは、新しい医学教育の開発と普及を目的とした“医学教育セミナーとワークショップ”を毎年4回開催し、全国から多くのご参加をいただいております。第63回医学教育セミナーとワークショップは、岐阜大学で開催いたしますので、奮ってご参加ください。 岐阜大学 医学教育開発研究センター 藤崎和彦

2017年1月27日(金)～29日(日)

じゅうろくプラザ/岐阜大学サテライトキャンパス (27日のWS-1のみ)

- 2017 冬
- セミナー The 地域枠学生の育て方 ～卒後のキャリア支援を見据えて **ML**
- WS - 1 第8回東海地区SP勉強会&交流会 (拡大版) **A**
～コミュニケーション分野のOSCEでの学生のパフォーマンスを評価してみよう!～
- WS - 2 卒後キャリア支援を見据えた地域枠学生の育て方 **ML**
- WS - 3 Road to Professional! 熟達化とその評価 **FELLOWSHIP** **A**
- WS - 4 新人医療者が成長するためのシームレスな支援を目指す 学校編 **CD**
～学生を育てる人を支えるレシピ♡～
- WS - 5 行動変容を促す「動機づけ面接」を紐解こう **TL**
- WS - 6 グラフィックデザインの視点からみた魅力的な掲示物の作り方 **TL**
- WS - 7 LMS (Learning Management System) で教材を作ってみよう! **TL**
- WS - 8 第12回 医学教育研究技法ワークショップ **R**
「医療者教育の研究を立案してみよう」
- WS - 9 新人医療者が成長するためのシームレスな支援を目指す 臨床編 **CD**
- WS - 10 どうやって始める? IPE **CD**
- WS - 11 学生さん、医療者教育研究の世界へようこそ! **TL**
ー教育研究体験を通しての学びを考えるー

* 記号(**FELLOWSHIP**)は、フェロシップ対応WS、他(**TL** 等)は、アソシエイト認定のための学習領域を表しています。詳細は、MEDCホームページ「[アソシエイト・フェロシップのご案内](#)」をご覧ください。

		プログラム					
27日(金)	PM	WS-1					
28日(土)	PM	WS-2	WS-3～	WS-4	WS-5	WS-6	WS-7～
	夕	セミナー					
	夜	懇親会					
29日(日)	AM	WS-8	～WS-3	WS-9	WS-10	WS-11	～WS-7

セミナー The 地域枠学生の育て方 ～卒後のキャリア支援を見据えて～

ML

講師：村上啓雄（岐阜大学医学部附属地域医療医学センター／岐阜県医師育成・確保コンソーシアム）

日時：2017年 1月28日(土) 17:00～18:15（1時間15分）

概要：岐阜県における地域医療支援センターに相当する「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」を平成22年に設立し、岐阜大学医学部附属地域医療医学センター内に事務局を置いた。地域枠学生および卒後医師の教育・支援をしてきた取り組みを紹介したい。また地域枠学生・医師が地元の医療機関で勤務すれば、安心して自分自身のキャリアアップを図れるような教育方策や体制を作るにはどうすべきかについて、実際の地域枠教育担当者に加え、大学外で地域医療実習・研修を担当する指導者とも一緒に開催するワークショップのまとめも含めてお話ししたい。

WS-1 第8回東海地区SP勉強会&交流会（拡大版）

A

～コミュニケーション分野のOSCEでの学生のパフォーマンスを評価してみよう！～

企画：東海地区SP養成者ネットワーク

日時：2017年 1月27日(金) 13:30～16:30（3時間）

概要：OSCEや医療面接実習をはじめとした、模擬患者（SP）参加型教育の必要性が高まってくるにつれ、SPのパフォーマンスやフィードバックの標準化や質向上が課題となってきています。東海地区では、2013年より各医療系大学および組織のSP養成者が中心となって、SPのパフォーマンスやフィードバックの質向上と共有、およびSP養成者のSPトレーニングの知識・スキルの標準化を目的に勉強会を企画・運営してきました。今回はその拡大版として、さまざまな地域のSPやSP養成者とともに、SPにとって悩みのタネの一つである「評価」について一緒に勉強しませんか？共用試験OSCEあるいは臨床実習後OSCEでの学生のパフォーマンスを演じたSP自身が評価することで、学生の合否判定としてふさわしい評価の方法やその標準化について体験し、皆で考えてみます。他地域のSPや養成者と交流を深めるまたない機会ですので、ざっばらんに情報交換し、SPにも養成者にとっても役立つ情報を提供したいと思います。

対象：全国の模擬患者、模擬患者養成者

（定員80名）

WS-2 卒後キャリア支援を見据えた地域枠学生の育て方

ML

企画：前田隆浩（長崎大学）、長谷川仁志（秋田大学）、阿波谷敏英（高知大学）、片岡義裕（筑波大学）、村上啓雄（岐阜大学）

日時：2017年 1月28日(土) 13:00～16:45（3時間45分）

概要：地域枠入試制度が本格的に開始されて約10年が経過し、ほぼ全大学で地域枠が存在するようになった。すでに初期臨床研修を終え、いわゆる義務年限として各都道府県と大学が連携したプログラムにより地域の医療機関で勤務し、キャリアを積んでいる者もいる。しかし、在学中・卒後を問わず制度からドロップアウトする者が少なからず存在し、教育担当者の悩みの種になっている。本WSでは、地域枠学生・医師が地元の医療機関で勤務すれば、安心して自分自身のキャリアアップを図れるような教育方策や体制を作るにはどうすべきかについて、実際の地域枠教育担当者に加え、大学外で地域医療実習・研修を担当する指導者とも一緒に考えてみたい。

対象：全国の大学医学部医学科地域枠学生教育担当者、地域の連携施設での教育担当者

（定員30名）

WS-3 Road to Professional! 熟達化とその評価

FELLOWSHIP

A

企画：西城卓也・恒川幸司（MEDC）、園真廉（神戸市立医療センター中央市民病院）

日時：2017年 1月28日(土) 13:00～16:45・29日(日) 9:15～13:00（7時間30分）

概要：医療者は、業務をこなし働きながら、その専門性を高める必要があります。「継続は力なり（Practice makes perfect.）」とは言いますが、長年経験したからと言って誰もが「プロフェッショナル」になれるとは限りません。また「評価は学習を促進する」といった教育の格言があります。しかし「評価疲れ」という言葉の通り、評価されるばかりでは気疲れれます。このWSでは、エリクソンの熟達化理論を基盤に、医療者はどんな環境で、どのように継続的に努力し、その能力を開発していくのかを議論します。その時の指導者の役割は何か？プロらしさをどう評価するのか？グループワークを通じて斬新なアイデアを共有することを目指します。

対象：メドギフトモジュール2参加者に限定しており、一般の参加者は受け付けておりませんのでご了承下さい

WS-4 新人医療者が成長するためのシームレスな支援を目指す 学校編 ～学生を育てる人を支えるレシピ♡～

CD

企画：布原佳奈（岐阜県立看護大学）、三輪峰子・平岡佐織・田邊良美（岐阜大学病院）、川上ちひろ（MEDC）

日時：2017年 1月28日(土) 13:00～16:45（3時間45分）

概要：このWSでは卒前の臨床実習に焦点を当てます。今時の学生の考え方、行動、価値観を理解し、教育的な対応の引き出しを増やしましょう。日頃、他施設の教育担当者として接する機会は多くはありません。ここでは、教員および臨床指導者が集い、互いの立場を理解し合いながら、臨床実習にまつわる困りごとを共有し、解決のための手掛かりが得られることを目指します。次年度の実習の充実に向けて、楽しく前向きに検討しますので、是非ご参加ください。

対象：主に看護の卒前臨床実習に関わる方。常勤、非常勤は問いません。看護に限らず卒前の医療者教育に関心のある方も歓迎します。

（定員25名）

WS-5 行動変容を促す「動機づけ面接」を紐解こう

TL

企画：伊藤孝訓（日本大学松戸歯学部）、足達淑子（東京医科歯科大学）、木尾哲朗（九州歯科大学）、鈴木一吉（愛知学院大学）、吉田登志子（岡山大学）、藤崎和彦（MEDC）

日時：2017年 1月28日(土) 13:00～16:45（3時間45分）

概要：「行動科学や人間教育」は重要な医療人教養の基本です。医療や教育の場面において、関わる問題に対応しようとして、ある特定の理論を用いて相手の心を理解しようとしてもなかなかうまく功を奏さなかった経験がありませんか。うまくいなくても仕方ないと思うことで、もやもやを残したまま諦めたことがあるでしょう。それでも何とか相手を理解して、指導できないものかとジレンマに陥らなかつたでしょうか。

患者や学生の問題を少しでも改善するために、抱える問題に対する物語を積極的に傾聴することで、その後の対処継続の成功や満足度に大きな影響を及ぼすと言われています。しかし、非指示的、中立的に流れを任せたとしても、相手自らが解決してはくれないし何も変わりません。理想と現実の間でも、行動の変化に繋がるような働きかけをしなければ解決はできません。

今回は「動機づけ面接 MI：Motivational Interviewing」という、行動変容を促す糸口に当たる変化動機を引き出し強化する対話法について、一緒に学びませんか。

対象：主に歯科関連の臨床教育に関心のある方。特に歯科衛生士の教員を歓迎します。

（定員30名）

WS-6 グラフィックデザインの視点から見た魅力的な掲示物の作り方

TL

企画： 山本政幸（岐阜大学教育学部美術教育）

日時： 2017年 1月28日(土) 13:00～16:45（3時間45分）

概要： イベントの告知のためのポスターなど掲示物の作製をする機会が何かと多いかと思えます。どのような色、レイアウト、文字、イラストなどを用いれば見る人に効果的に伝わるのか、悩まれることも多いかと思えます。このWSではグラフィックデザインを専門とする講師からポスター作製のコツを聞き、実際にパソコンを使ってポスター作製の体験を行います。

対象： パソコンを使ってのポスター作製に興味がある方

(定員20名)

WS-7 LMS (Learning Management System) で教材を作ってみよう！

TL

企画： 浅田義和・八木街子（自治医科大学）

日時： 2017年 1月28日(土) 13:00～16:45・29日(日) 9:15～13:00（7時間30分）

概要： 時間と場所に影響されない学習・教育の手法として、LMS (Learning Management System) の利用が広がってきています。2013年には第50回のセミナーにて「Moodleを学ぼう」というセッションを開催させていただきました。その後、Moodleはバージョンアップを重ね、2015年11月には3.0がリリースされています。また、無償で利用するためのクラウドサービスであるMoodleCloudも登場しました。基本的な機能に関しても様々な新しいものが追加となっています。本WSでは、moodleの機能紹介の概略の説明から、参加者が応用できるような簡単なコース作成方法まで、「学習者の立場」と「教員の立場」、両方でmoodleを使いながら体験して学ぶことを目的とします。また、後半ではmoodleの評価機能に焦点をあて、「どのような成績評価ができるか」「利用状況に関して、どのようなデータが取れるのか」などについても紹介したうえで、「どのような活用・応用ができそうか？」をディスカッションする機会を設けたいと考えています。

対象： 大学あるいは院内での教育に携わっており、eラーニング (Moodle) の利用に興味関心があるスタッフ

(定員20名)

WS-8 第12回 医学教育研究技法ワークショップ「医療者教育の研究を立案してみよう」

R

企画： 日本医学教育学会 教育研究委員会（大滝純司、宮田靖志、石川ひろの、伊藤俊之、大生定義、尾原晴雄、孫 大輔、武田裕子、向原 圭、森本 剛）

日時： 2017年 1月29日(日) 9:15～13:00（3時間45分）

概要： 質の高い研究を行うためには、研究を始める前に、目的を明確にし、十分に準備し、適切な方法を選択することが不可欠です。本WSでは、医学・医療者教育分野の研究を始めようとしている方を対象として、参加者の皆さんが抱えている・関心を持っている研究テーマについて研究計画をそれぞれ報告していただきます。その上で、目的の明確化、先行研究に基づきリサーチエスジョンや仮説の設定、適切な研究方法の選択、倫理的配慮などに向けて、タスク・参加者と共に議論し、個々のニーズに合わせて研究計画をブラッシュアップすることを目標とします。

対象： 医療者教育研究を計画している方、関心を持っている方

(定員12名程度)

WS-9 新人医療者が成長するためのシームレスな支援を目指す 臨床編

CD

企画： 三輪峰子・平岡佐織・田邊良美（岐阜大学病院看護部）、布原佳奈（岐阜県立看護大学）、川上ちひろ（MEDC）

日時： 2017年 1月29日(日) 9:15～13:00（3時間45分）

概要： 臨床現場で必要とされる臨床実践能力と基礎教育で習得する実践能力の間には乖離が生じています。そこで、養成校と臨床の垣根を超え、協働することは、新人医療者が成長しやすい環境作り、臨床側の教育力を高めることに繋がると考えます。今回、養成校と臨床の協働の取り組みを紹介し、参加者間で情報共有を行い、アイデアを出し合うことで、新人医療者への支援に繋がっていきたくと考えます。

対象： 新人医療者教育に携わっている指導者・教員など

(定員25名)

WS-10 どうやって始める？ IPE

CD

企画： 田島嘉人・熊田ますみ・野原尚美・市田博子（平成医療短期大学）

日時： 2017年 1月29日(日) 9:15～13:00（3時間45分）

概要： 超高齢社会を目の前に迎え、医療・介護・福祉の現場は急ピッチで“多職種連携（IPW：inter-professional work）”を進めています。しかし、医療・介護・福祉の“教育”の分野では多職種連携教育（IPE：inter-professional education）を実施されている大学がまだまだ少ないのが現状です。「IPEは必要！でも何からどうやって始めたらいいの？関係づくりは？」「IPEはしているけどもっともって拡げていきたい！」。今回のワークショップでは私どもが実施しているIPE（医学・薬学・看護・理学療法・作業療法・視能訓練の6職種IPE）の紹介と多職種連携の体験を通して、まずこれからIPEを始めようとしてる先生方のハードルが下がることを期待しています。何より、IPEに興味を持つ大学の先生方がこのワークショップに一同に集まって“知り合う”ことが最大の目的です。今回は先生方が自由に交流できる「IPECafe」みたいな時間も作りたくと思っています。様々な職種の先生方が集まれば集まるほど意味のあるものになります。お気軽にご参加ください。

対象： 医療・介護・福祉に関わるすべての職種の教育担当者

(定員30名)

WS-11 学生さん、医療者教育研究の世界へようこそ！－教育研究体験を通しての学びを考える－

TL

企画： 今福輪太郎（MEDC）、西屋克己（香川大学）

日時： 2017年 1月29日(日) 9:15～13:00（3時間45分）

概要： 医学教育学会や歯科医学教育学会では「学生セッション」の演題数が年々増えてきており、学生に教育研究を「教える」教員が多くなっています。その中で、担当教員は学生への教育研究への動機づけや指導方法、評価などで頭を悩ますことが多々あるかもしれません。本WSでは、教育研究の指導で「学生に何をどこまで教えたいの？」「良いリサーチエスジョンを立てさせるためには？」「学生主体の研究活動を促すには？」「医療者教育研究の経験は学生のためになっているの？」といった悩みや取組みの工夫を参加者と共有しながら「教育研究を通しての学び」について考えていきたいと思います。また、岐阜大学と香川大学の研究室配属（医学教育学）での指導の経験もご紹介したいと思います。

対象： 医療者教育および関連分野の研究（手法）を学部学生に指導している教員

(定員20名)

参加登録方法

**事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。
「MEDC」で簡単検索できます。**

締め切り：2017年1月15日（日）

ホームページからお申し込みできない方は、お電話（058-230-6470）にてご連絡ください。
ワークショップ運営上、各々定員を設けております。
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

参加費： 2,000円（資料代） 学部学生無料

懇親会費： 4,000円

参加費・懇親会費は、受付時に徴収いたします。
資料代は、資料ならびに第61回セミナーとワークショップの報告が掲載されている、「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。参加者には後日、「新しい医学教育の流れ」の冊子およびCD-ROMを送付いたします。（学部学生への送付はありません）

会場： 岐阜大学サテライトキャンパス *27日のWS-1のみ
(岐阜スカイウイング37東棟4階)

じゅうろくプラザ（5階）



じゅうろくプラザ

〒500-8856 岐阜市橋本町1丁目10番地11
※岐阜駅2階周辺歩行者用デッキから直結

岐阜スカイウイング37

〒500-8844 岐阜市吉野町6丁目31番地
※岐阜駅2階周辺歩行者用デッキから直結